

第19回定時株主総会の質問事項について

平成18年7月12日

6月23日(金) 午前11時より、JR貨物本社ビルにおいて、第19回定時株主総会を行いました。

株主からは別紙のご質問がありました。

中期経営計画「ニューストリーム 2007」における「21 世紀型の鉄道貨物輸送」の構築など、会社として目指していく将来像とそれに向けた取り組みについてお聞かせ下さい。

最近、地球環境問題を背景として、物流の環境負荷低減に向け官民を挙げた取り組みが活発化しており、CO₂排出量の少ない鉄道貨物輸送への期待が高まっております。

受け皿であるJR貨物としては、まず第一に安全・安定輸送の確保に万全を期し、お客様から信頼され、選択される輸送機関になるべく頑張っております。

現在、中期経営計画「ニューストリーム 2007」の2年目に入っておりますが、この計画では、古い殻から脱皮して文字どおり21世紀に相応しい鉄道貨物輸送の流れを構築していくことを考えております。

具体的には、駅構内における入換作業を最小化することにより、事故防止やコストの低減を図ります。また、いまだに最高速度75km/hの貨車が走っていますが、これを全て95km/h貨車へ置換えていく考えです。これにより、旅客会社とのダイヤ調整もし易くなりますし、輸送サービスの向上にもつながると考えています。

関連事業分野でも、物流施設を中心に、鉄道貨物輸送との相乗効果を生み出す事業展開や所有する用地の有効活用を推進することにより、着実な収益の拡大を図ってまいります。

おかげさまで5年間連続の経常黒字を達成しておりますが、国鉄改革の最終目標である完全民営化につきましては、まだその段階に至ってはおりません。引き続き、早期完全民営化に向けて全力を挙げて取り組んでいく所存でありますので、よろしく願いいたします。

J R 貨物グループの今後の経営戦略についてお聞かせ下さい。

当社の連結対象会社は、国鉄から承継したものを含め、臨海鉄道・倉庫等 66 社あります。そのほとんどが物流に関連するものであり、鉄道貨物輸送を中核とした総合物流企業グループとして連結経営の強化を推進しているところです。

当社は未公開会社であり、監査法人による正式な監査は受けておりませんが、「連結決算」を開始し既に 5 年が経過しております。これについては、さらなる改善を図り、上場会社並みの早期決算を実現するため、会計システムの見直しを行っているところです。

また、この 19 年間、時代の変化を見据えて、グループとしての効率化を図るため、関連会社の再編成・統廃合も積極的に進めてまいりました。今後とも、出資比率の見直しも含めた関係会社整備を推進してまいります。

各社には、平成 15 年度より目標管理制度・業績評価制度を採り入れ、個々の会社の活性化を図っております。加えて、各社における部門別収支管理の徹底を図ることにより、成長分野の育成・不採算部門の経営改善をさらに進め、グループとしての企業価値の向上を図ってまいります。